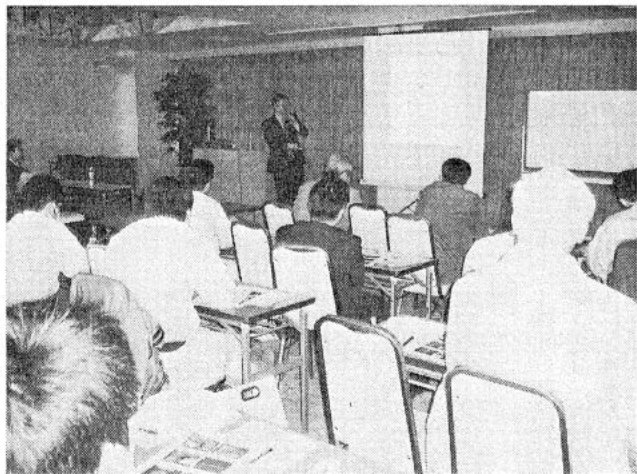




約80人が参加した県コンクリート診断士のセミナー

ASRの認識深める

県コンクリート診断士会がセミナー

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は24日、福井市内の県職員会館で「コンクリート診断技術セミナー」を開催した。

同セミナーは、誰でも無料で参加できるオープン形式で、当日は官公庁職員や建設会社、コンサ

ルタント業者ら関係者約80人が受講。

金沢大学大学院自然科学研究科の鳥居和之教授が、アルカリ骨材反応（ASR）によるコンクリート構造物の劣化について分かりやすく講義した。鳥居教授は「どの地域で、どのような石を使用するとASRが発生し

たかを把握する必要がある」とし、北陸地方におけるコンクリートの劣化事例を紹介。また、「構造物の調査・診断は高度な技術と豊富な経験が不可欠」と話し、行政に対してコンサルタントや試験機関の育成に関する支援を訴えていた。